

郷土に残る 小山正太郎と 不同舎の画家たち

長岡出身の小山と、画塾不同舎で学んだ郷土出身の画家たちの知られざる作品。

小山正太郎は、当地長岡の出身の洋画家です。明治期、日本に西洋画が移入され始めた時、小山は、西洋画で新しい国家建設のために尽力しました。小山は、その技術を伝えるため、画塾不同舎を設け、多くの後進を排出しました。その中には県出身者もいましたが、あまり知られていません。本展では、新潟県内に残る小山とその弟子たちの作品を紹介し、日本近代洋画黎明期に活躍した郷土の画家たちを浮かび上がらせたいと思います。

開催概要

- 【**展覧会名**】 郷土に残る小山正太郎と不同舎の画家たち
【**会場**】 新潟県立近代美術館 展示室1
【**会期**】 平成27年1月4日(日)―3月1日(日)
【**休館日**】 月曜日 ただし1月12日(月・祝)は開館し、1月13日(火)休館
【**開館時間**】 9時～17時(観覧券販売は16時30分まで)
【**主催**】 新潟県立近代美術館
【**観覧料**】 当日券一般430円(340円) 大学・高校生200円(160円) 中学生以下無料
※()内は有料20名様以上の団体料金
※障害者手帳、療育手帳をお持ちの方は無料。受付にて提示ください。
※会期中、本券で展示室2「近代美術館の名品」、展示室3「こどものせかい」もご覧いただけます。
※2月3日(火)からは、「コレクション・ストーリーズ」の観覧券でも入場できます。

展示内容

I 小山正太郎

長岡出身の小山正太郎の当館所蔵作品を紹介します。洋画家ですが、日本画も描いており、併せて展示します。また、久保祥次氏から平成25年度《牧童図》の寄贈を受け、小山の《牧童図》を2点所蔵でき、対比してご覧いただけます。

II 不同舎の画家たち

田中本吉(長岡)、三輪大次郎(旧与板)、高村真夫(新潟)、安田稔(長岡)、郷土出身の小山の弟子たちの作品を紹介。特に田中本吉は、師である小山の《仙台の桜》を模写した作品を並べて展示。その上、これまで題名や履歴が不明であった山谷沢小学校所蔵の作品が、明治30年(1897)明治美術会第8回展出品の《農家ノ夜業》と判明、展示します。また、田中、三輪、高村の初公開の作品もあり、平成25年度中山こと氏から寄贈された《女》は、昭和初めのモダンガールを描いた異色作です。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦